



2023年4月28日

各位

会社名株式会社 A i m i n g
代表者名代表取締役社長 椎葉 忠志
(コード番号: 3911 東証グロース)
問合せ先取締役 経営管理部 田村 紀貴
ディビジョンディレクター
(E-mail: ir@aiming-inc.com)

2023年12月期第1四半期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2023年2月14日に公表いたしました2023年第1四半期（2023年1月1日～2023年3月31日）の連結業績予想と実績を比較し、下記の通り差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 2023年12月期第1四半期（2023年1月1日～2023年3月31日）の連結業績予想と実績の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円				円 銭
予想値 (A)	4,719	220	218	△35	△0.87
実績値 (B)	5,158	576	626	218	5.46
増減額 (B - A)	438	355	407	254	—
増減率 (%)	9.3%	161.0%	186.4%	—	—
(参考) 前年同四半期実績 (2022年12月期第1四半期 (非連結))	3,342	336	338	284	7.13

2. 差異の理由

2023年2月14日公表の2023年12月期第1四半期の連結業績予想における売上高については、主に配信サービスにおいて、『ドラゴンクエストタクト』の2.5周年イベントを見込み、また、『陰の実力者になりたくて！マスターオブガーデン』は、2022年11月29日のサービス開始以降初めて四半期に渡る売上貢献となるため、前四半期（2022年12月期第4四半期3,942百万円）比で増収予想（2023年12月期第1四半期売上高4,719百万円）としておりました。費用面については、各タイトルの開発フェーズの進行に伴う開発費用の増加に加え、『ドラクエタクトタクト』『陰の実力者になりたくて！マスターオブガーデン』の広告宣伝費を見込んだことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前四半期比（2022年12月期第4四半期親会社株主に帰属する四半期純利益200百万円）で減益予想（2023年12月期第1四半期親会社株主に帰属する

四半期純損失 35 百万円) としておりました。

この度、2023 年 12 月期第 1 四半期において、連結予想値と実績値の差異が生じたのは、主として、配信サービスの売上高が予想値を上回り推移したことが要因であります。

具体的には、『ドラゴンクエストタクト』においては、2.5 周年イベント後の反動減が想定よりも少なかったこと、『陰の実力者になりたくて！マスターオブガーデン』においては、原作となる『陰の実力者になりたくて！』の第 1 期のアニメ放映が 2023 年 2 月中旬をもって終了することから以降の売上高の減少を見込んでおりましたが、想定よりも減少せず好調に推移したためであります。費用面については、売上高の増加に伴う変動費の増加があるものの、固定費は概ね想定通りとなりました。

以上の要因から、売上高は予想値に対して 438 百万円上回り、営業利益は 355 百万円、経常利益は 407 百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益 254 百万円上回ることとなりました。

以上